

■ 議題

今回の審議委員会は、2014年2月1日放送の「高山市合併10周年式典の中継」から、高山市の小学生約800人による『高山市の歌』の合唱と、2016年11月1日放送の「高山市制施行80周年記念式典第2部～『未来の高山』ふるさとを語る～の中継」から、高山市の小学5年生約800人によるテーマ曲『大きくなったら』の合唱、及びこの曲を作詞した花里小学校5年の杉田百合菜(すぎた・ゆりな)さんのあいさつ、さらに11月17日放送の「高山警察署だより」から「還付金詐欺にご注意」を聴いて審議に入った。

※2014年放送の合唱を試聴したのは、2014年の合唱の中継は、客席に立てたマイクのみを使って放送したのに対し、2016年の合唱の中継は、ホールの天井から吊り下げたマイクを使って放送しており、2つの放送(明瞭さや音質の違い)を比較するため、試聴の前に会社側からこの点について説明した。

■ 審議内容

会社側： 審議に入る前に、前回の番組審議委員会での意見に対しての回答、報告、今後の放送予定、聴取していただいた番組の補足などを説明した。

大萱委員長： 只今、試聴したコーナーの内容や、普段聴いている放送についてなど、順次、意見ををお願いしたい。

安田委員： 「児童の合唱の聴き比べ」については、冒頭に臨場感の違いの説明があったが、実際聴いてみて私自身は、そこまでこだわりなく聴くことができた。しかし、ホールの天井から吊り下げたマイクを使った放送の方が、音の響きや臨場感があったようにも感じた。感心したのは、テーマ曲「大きくなったら」で作詞をした花里小学校5年の杉田百合菜さんのあいさつで、大人顔負けのあいさつをしてとても良かった。

「警察署だより」は、還付金詐欺の話題を私どもの署員と宮ノ下ナビゲーターの寸劇で紹介したが、プロではないので了承頂きたいと思う(安田委員は高山警察署の職員)。警察署では「警察署だより」などを通じて、ヒッツFMで紹介して頂き大変感謝している。この場を借りてお礼と、日頃気を付けていることを話したい。

警察署の話題は「お願い事」が中心になる。その中で取り上げる話題には制限があり、例えば悲惨な事故などがあった場合に明るい雰囲気では話をするわけにはいかないもので、どうしても話し方が硬くなる。しかし、今回の還付金詐欺に関係した話題は、広報・啓発に力を入れており、寸劇形式などで市民の方に認識してもらうために、分かりやすく明るい感

じで紹介した。その中で気を付けているのは、警察用語をついつい言っ
てしまいそうなので、なるべくわかりやすい言葉で広報するよう心がけ
た。実は、今回の還付金詐欺の内容は、やりすぎるとリスナーに批判さ
れるかと思ったが、宮ノ下ナビゲーターにうまくやっていただいたこと
もあり大変感謝している。今後も工夫して紹介していかないと相手に伝
わらないので、なるべく聴いている方に良い反応を得られるように紹介
していきたいと思う。

大萱委員長： オレオレ詐欺や還付金詐欺に何故ひっかかるのかと、みなさん思うのだ
が、やはりひっかかってしまう。啓発活動はずっと続けて欲しいし、も
うそろそろ大丈夫などということはないと思う。

安田委員： 発生件数と被害金額は減少しているが、その中でも還付金詐欺は高水準
で推移している状況なので、啓発に力を入れている。協力をお願いした
い。

大萱委員長： ぜひ今後もヒッツFMで、還付金詐欺について放送して欲しいと思う。

川原委員： 「児童の合唱の聴き比べ」については、私も、音質などにこだわるほう
ではないが、今年の11月に放送したものと、2年前の2月に放送した
ものを比べると格段に違う感じがした。今年の方が、ホールいっばいに
音が広がっていて音質もよかった。杉田百合菜さんのあいさつについ
ては、本当に小学5年生とは思えない話し方で、心に響き感動した。作詞
をしたいきさつや杉田さんの今の夢などが、市長との会話の中で聞くこ
とができて良かった。また、作曲した糸川玲子さんの話もあったが、自
身が作曲した曲を小学5年の児童に歌ってもらったことが非常に嬉しい
という気持ちが伝わった。ホール全体が感動の渦に包まれて良い内容だ
った。

「警察署だよりの還付金詐欺」については、刑事課の方がゆっくりとし
た口調でしたし、宮ノ下ナビゲーターも高齢者になりきってやりとりし
ていたので分かりやすかった。また、還付金詐欺に遭わないためのポイ
ント説明なども、繰り返し分かりやすく言っていたので良かったと思う。

大萱委員長： 合唱の音質について、気にならない方もいると思うけれど、AMとFM
を切り替えると音質がぜんぜん違うと思うし、「音質はラジオの命」な
ので臨場感があればいろいろな方の想いがダイレクトに伝わると思う。
今回、前回の音質についての指摘を覚えていて、それを修正してくれて
大変良かったと思う。

奥原委員：最初の「合唱の聴き比べ」は、やはり2年前の合唱と今回の合唱を比べると、2年前の合唱はピアノの音が大きかったり、一部の児童の声だけが目立ちバランスが悪く、合唱ではない印象を受けた。それに対し今回の合唱はバランスが良く、臨場感もあったので合唱という感じで聴けて良かったと思う。杉田さんの話もとても良い話で、その話を聴いた後、もう一度合唱を聴きたい思いになった。

「警察署だより」については、警察署の方はプロではないのに、とてもゆっくりと分かりやすく話をしてくれたし、ただ「気を付けて下さい」と言うだけでなく寸劇を交えることによって、興味が持て分かりやすく聴けた。ただ3名とも男性の声だったので、分かりやすくするために女性の声も欲しいと思った。還付金詐欺に遭わないための注意点についても、何度も繰り返し言っていたので印象に残った。

大萱委員長：寸劇のお年寄りの役は男性ナビゲーターだったが、今後は女性ナビゲーターにも担当してもらったら良いと思う。

田中委員：「合唱の聴き比べ」は、今回の合唱のほうはかなり音質も良くなっており、聴いていて気持ち良かった。

「警察署だより」は、寸劇仕立てになっているのは分かりやすくて良いと思った。プロの方ではなく、警察の方が少しぎこちない感じでやっていて「警察の方もこうゆうことをやるのだな」と親近感がわいた。一度通して寸劇をやって、その後にもう一度ポイント解説を交えながら進めるという構成は、分かりやすくて良いと思ったが、やはり男性3人で寸劇をやるよりは、女性1名もしくは女性2名に男性1名といった組み合わせで寸劇をしたほうが、より聴いている方も分かりやすくて良いのかなと思った。

原委員：「合唱の聴き比べ」で2年前の合唱を聴いていて、当時、このことに対する強い指摘があったことを思い出したが、確かにとても800人が合唱しているようには聴こえなかった。何人かの声が聴こえるだけだったので、その時は、ラジオから合唱を放送することは難しいのかと思っていた。しかし今回の合唱は、かなりの人数で歌っているのが伝わり臨場感があったし、制作スタッフは、放送するのに苦労したのかなと思った。2年前の強い指摘があり、音質の良い合唱がラジオで聴けて嬉しく思う。これからもさらに臨場感が出るように工夫して頑張ってもらいたい。

「警察署だより」は、寸劇を聴いて還付金詐欺のことがよく分かった。ただ、みなさんの意見にもあったように、声が男性ばかりだったので、女性の声もあると想像力も膨らむと思う。今後、こういった詐欺犯罪やその他の犯罪についても、寸劇などで分かりやすくやっていただけるとありがたい。

大萱委員長： 2014年の時の合唱の指摘は私がしたが、今回、改善したのでありがたい。

土屋委員： 「合唱の聴き比べ」は、違いがよく分かった。私もあまり音質については詳しくないが、2014年も今回も800人の合唱なのに、2014年の合唱は、今回の10分の1くらいの人数に感じた。音声の技術だけでこんなに変わるものかと思った。歌っている児童の声もきれいだし、2014年の時も今回ぐらいきれいだと思い思った。これからも技術の面だけで変わるのなら、どんどん合唱の放送をやって欲しいと思った。「警察署だより」は、詐欺被害がいろいろなパターンで様々な手口があると思う。還付金詐欺だけでも違う手口があると思うので、いろいろなパターンの寸劇をやって頂くとありがたい。実際、被害に遭うのは電話でのやりとりが多いと思うので、よりリアルにやると良かったかもしれないが、この寸劇だけでも臨場感があって良かった。

大萱委員長： 還付金詐欺の放送は今回の1回のみで終わるのではなく、ずっと放送して欲しいし、シリーズ的に放送できると良いと思う。

会社側： 今、聴いて頂いた「警察署だより」の寸劇は、今日の15時前にも再放送する。この後も、日時を変えて何度か再放送するつもりだ。また、別のパターンでも寸劇的なものができれば良いと考えている。今日出席している刑務課長（安田委員）とも相談したいと思う。

安田委員： みなさんの知恵をかりながら、また今日の指摘を取り入れながら、より分かりやすく伝えていきたいと思う。

大萱委員長： （還付金詐欺について）放送する時間帯を考えた場合、お年寄りが聴く時間帯は何時頃なのか？午前中が多いのか？家にずっといることを考えると何時でもよいのか？その辺りは把握しているのか？

会社側： 把握していないが、今日については15時前に放送する予定だ。また土曜日は16時30分に再放送、日曜日は午前9時前に再放送をする予定だ。どこかの時間帯で聴いてもらえれば良いと思う。

大萱委員長： 再放送をぜひお願いしたい。

今日、試聴した部分だけではなく、普段ヒッツFMの番組を聴いて気付いたことがあれば聞かせて欲しい。

ところで、合唱の音質が違うのはマイクの違いなのか？

会社側： 2014年の合唱は正面のマイクしか使っていなかったのに対し、今回は、上から広くとれるマイクも使ったため良い音質で放送できた。前回の反省を踏まえて、今回はその辺り気をつけて放送した。

原委員： そういえば、毎年、高山市の合唱があると思うが…。

会社側： 高山市・白川村の小中学校音楽会が今年の秋に行われた。その模様を年末年始に放送する予定だ。

大萱委員長： 音楽会の放送時間は何時なのか？

会社側： 年末年始とも午前10時頃から午後3時頃まで放送する。30日は小学校、31日は中学校で、再放送は同じ時間帯で、小学校が1月2日、中学校は1月3日に放送する編成にしている。

大萱委員長： 先ほどの意見で「感動した」という話があったが、合唱の後この曲を作詞した杉田百合菜さんのあいさつがあり、私はその場にいたのだけれど、本当に感動して涙が出た。それが放送からも伝わったので、ぜひ何度も流して欲しいと思う。

会社側： 杉田さんのあいさつのほか、児童8名の作文の発表についても放送した。また各学校でも給食の時間に作文の紹介をした。また夜の時間にも再放送をするなどして、いろいろな時間で聴いてもらえるよう放送している。

大萱委員長： 子どもたちがとてもしっかりしていてびっくりした。「大人がしっかりしないと」と思った。ぜひ、何度も流して欲しいと思う。

原委員： このテーマ曲「大きくなったら」の合唱を頻繁に流す予定はあるのか？

会社側： 「市役所からこんにちは」（毎週木曜日正午から放送の市政情報番組）の中でも、頻繁に流すことになると思うし、当局のパワープレイに取り上げるなど頻繁に放送するようにしたい。

原委員： せっかく作ったのだし良い歌なので、何かの時にこの曲を流すと良いと思う。

大萱委員長： 実はこの曲「大きくなったら」は、「文化芸術祭」で作ったもので、この後、楽譜を各小学校に配って、しっかり歌を覚えてもらい、伝えていくように考えている。またこの曲は、耳に残る心地良い曲になっているが、これは曲を作る際に作曲の先生にお願いしていて、希望どおりの曲となり嬉しく思う。ぜひこの曲を使用して欲しい。
ところで年末年始は特別番組となっているが、番組の内容はおおむね例年通りなのか？

会社側： 例年通りだ。年末年始の特別番組では、小中学校音楽会の様子を放送するほか、インフォメーションと音楽が中心となる。ナビゲーターに交代で担当してもらい、また担当外のナビゲーターにはこの間に休養してもらおうようにしている。

大萱委員長： 今日は、ともみナビゲーターが出席しているが、自身の番組でいろいろな苦労話などあると思うし、今後の番組でやってみたいことなど、意気込みがあれば教えて欲しい。

ともみ： はじめまして。私は「ともみ」という下の名前で出ていて、デビューして4年目となる。今回初めて審議委員会に出席したが、出席してみて、審議委員のみなさんが私たちの番組のために貴重な意見をして頂き大変感謝している。向上できるよう頑張っていきたい。
私は元々保育士をしていたが、自分の人生を考えた時にしゃべる仕事にチャレンジしたいと思い、現在、ヒッツFMのナビゲーターとして働いている。素人からのスタートだったので、難しいことがたくさんあった。ラジオの放送で心がけていることは、常に聴いている方のことを思い浮かべながらしゃべることで、「みなさんお元気ですか」や「どこでラジオを聴いていますか」などの言葉をかけ、このストレス社会の中で「ホッ」とできるような放送ができれば良いと思う。
以前は、市民を巻き込んだコーナーをやっていたこともあったが、今はそのようなコーナーが少ないので、積極的にインタビューをしたり、またゲスト出演をたくさんしてもらおうなど、さらにたくさんの市民を巻き込んで楽しく放送したいと思う。やりたいことはたくさんあるが、できることからやりたいと思う。

大萱委員長： ぜひ夢を叶えて欲しいと思うし、企画営業の山下さんや大岩社長とも相談しながらいろいろな企画を立てて欲しいと思う。
ナビゲーターの方々も頑張っているのだから、ずっとラジオを聴いているのは難しいことだが、委員のみなさんには車での移動中などに少しでもヒッツFMを聴いていただき、今後また貴重な意見を頂けるとありがたい。

来年はヒッツFM開局20周年を迎えるが、大きな放送事故もなく、自主制作でここまで続けることができ良かったと思う。それに甘んじることなく、もっともっとみなさんの意見を参考にして欲しいと思う。

大萱委員長：他に意見が無ければ、これで閉会する。

会社側：本日は貴重な意見を頂き感謝している。ますます番組に反映したいと思う。

■審議機関の答申又は、意見の概要を公表した場合における公表内容、方法年月日

11月22日 番組審議委員会の席上で説明

■その他の参考事項

次回開催日 平成29年1月下旬

開催場所 飛騨地域地場産業振興センター（予定）